

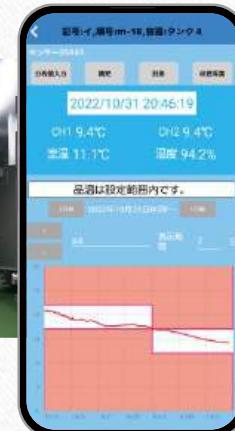
もろみ日誌クラウド機能資料

②制御でできること編

2026年1月現在

- P2 概要
- P3 温調器を搭載の醸造機器と連携
- P4 遠隔から温度を確認
- P5 温度が設定値を超えるとスマホに通知
- P6 遠隔から設定温度を変更
- P7 設定温度の事前登録「SV計画値」
- P8 既設設備の改造で連携追加が可能
- P9 遠隔制御対応タンクへの改造について
- P10 連携対応の温調器について
- P11 接続可能な温調器台数について
- P12 ゲートウェイへの接続について

もろみ日誌クラウド
製品ページ



特長とメリット概要

特徴

- 醸造機器の「温調器」と接続することで、醸造機器の温度を取得し遠隔からの設定温度変更が可能に



メリット

- 作業の効率化
温度確認、設定温度の変更だけなら現場に行かなくても可能
- 負担低減
品温を自動で記録し経過簿に記帳可能

温調器を搭載の醸造機器と連携

温調器(温度調節計、サーモ)が搭載されている醸造機器と連携することが可能です。

冷却タンク、電磁弁の温調器



電磁弁サーモセット
第一工業

樹脂ライニングタンク型
クーリングタンク
NYK西日本

麹室や発酵蔵の温調器



今お使いの制御機器を
「改造」することで連携可能に

遠隔から温度を確認

制御機器に備え付けられた温調器のデータを、離れた場所からスマホひとつで確認できます。各タンクを回って確認する必要はありません。

連携した温調器の温度を確認



温度が設定値を超えるとスマホに通知

設定した上限下限の温度を超えると、スマホへプッシュ通知。常に画面を確認する必要がなく、夜間や外出時にも迅速に対応できます。また、目標温度の通知を受信し次の工程に移るなどの活用もできます。

温度異常時はスマホに通知



温度以外に下記の状態も通知できます

- ・センサーの電池残量低下
- ・センサーの電波切断
- ・設定温度の変更
- ・醸造機器の異常警報(要改造)

遠隔から設定温度を変更

スマホから温調器の設定温度（SV値）を変更できます。現場へ足を運ぶことなく、適切な温度調整が可能です。関係者のスマホへ「何度に変えたか」を通知するアンサーバックにより、チーム内での情報共有も行えます。

スマホからの温調器 設定温度の手順



アプリ上の変更したい機器の
設定温度「変更」をクリック



設定したい温度を選択し
「OK」クリック

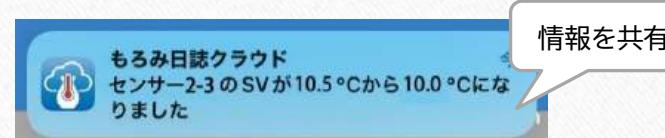


改造された制御機器の設定温度が変更

パソコンでの温度変更

- パソコンから温調器の設定温度(SV値)を変更

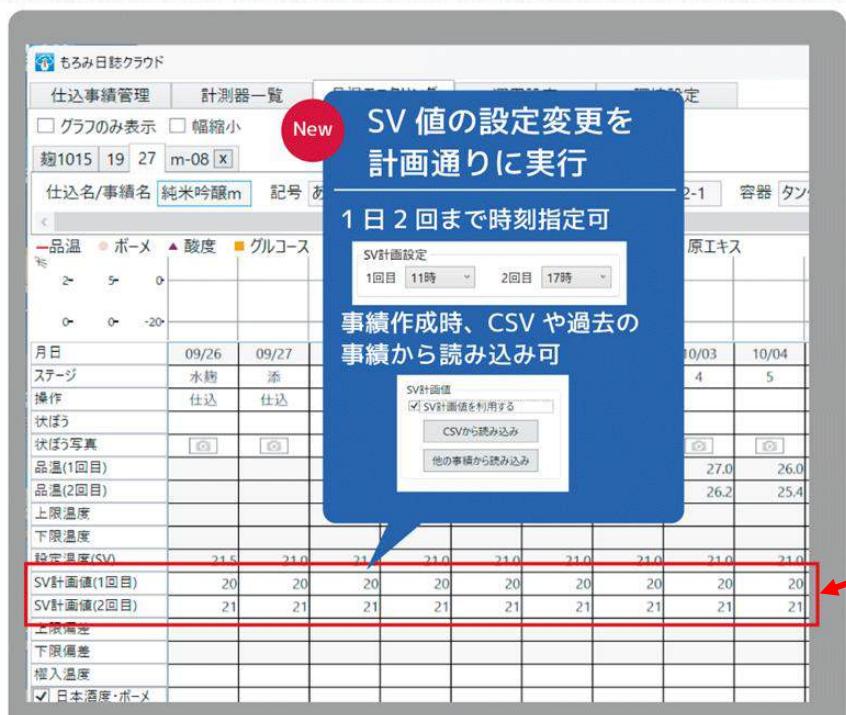
- 設定変更されたら関係者に通知（アンサーバック）



設定温度の事前登録「SV計画値」

温調器の設定温度（SV値）を事前に登録しておくことが可能です。これにより、発酵工程を計画通りに進められ、温度管理の手間を大幅に削減。自動化が進むことで、杜氏や蔵人の負担を軽減します。

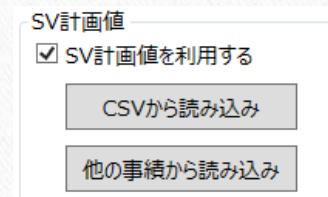
SV計画値の設定手順



1. [環境設定]の「SV計画設定」でSV値を変更する時刻を設定



2. [事績作成画面]で「SV計画値を利用する」にチェックし、SV値をCSVファイルなどで読み込む



3. 品温モニタリング画面にSV計画値が反映 (読み込まずに直接手入力することも可能)

→ 指定の時間に設定温度が自動変更されます



既設設備の改造で連携追加が可能

これらの遠隔監視・制御機能は、現在お使いの温調器や醸造設備をそのまま活かして導入可能です。大がかりな設備の入れ替えや大規模な配線工事は必要ありません。

冷却タンク



樹脂ライニングタンク型
クーリングタンク
(NYK西日本)

電磁弁



電磁弁サーモセット
(第一工業)

もろみ温制御くん
(キクランドウー)

制御盤



制御盤

20年以上稼働の
温度管理システム更新の
実績あり

麹室や発酵蔵



麹室

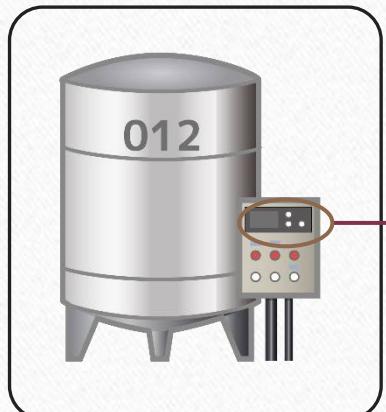


発酵蔵

遠隔制御対応への改造について

現在お使いの温調器が「データ通信対応」であれば、制御盤内に小型の「通信ユニット（RS485変換器）」を組み込むことで、低予算でスマホを活かした温度管理をはじめられます。

改造対象 制御機器



冷却タンク等の制御機器

改造内容

温調器を「データ通信対応の温調器」に交換いただく必要があります。



温調器の交換が必要かすぐに確認できます。お気軽にお問い合わせ下さい。

新規追加

通信ユニット（RS485変換器）を組み込みます。



クラウド

ユニットの固定や配線、電源の確保、外部アンテナの設置などの改造が必要となります

実際の改造作業は、制御機器メーカー様か
工事業者様へご依頼いただくこととなります。

■問い合わせページ



9 頁

連携対応の温調器について

連携のためには、お使いの設備が以下のデータ通信対応の温調器を搭載している必要があります。

【指定モデル】

メーカー名	型番
理化工業社	RZ100-MMN*N61/1-DD07
理化工業社	RZ400-MMN*N61/1-DD07
アズビル社	C1MTR0RA0300
アズビル社	C15TR0RA0300
オムロン社	E5CC-RX2ASM-004
横河電機社	UT32A-010-00-00※1



RZ100
(理化工業)



E5CC
(オムロン)



UT32A
(横河電機)



SDC15
(アズビル)



C1M
(アズビル)

接続可能な温調器台数について

通信ユニット(RS485変換器)に接続できる温調器の台数は1~4台です。

●温調器1台



●温調器2台



このような制御盤への組み込み
時には、通信ユニットの必要台数
を減らせます

●温調器3台



●温調器4台

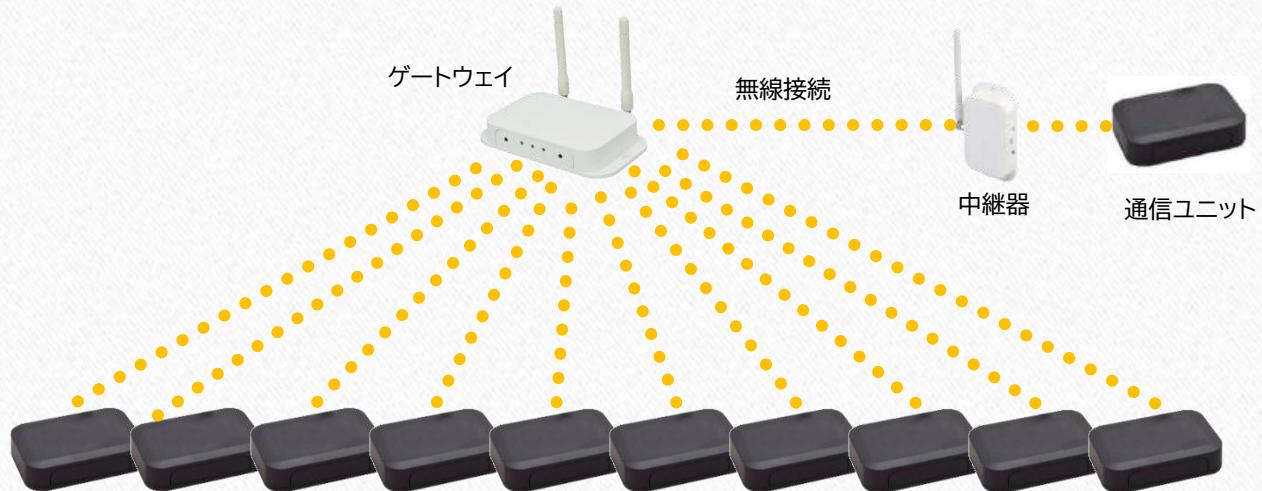


ゲートウェイへの接続について

ゲートウェイと通信ユニットとは無線接続しますが、接続可能台数が決まっています。

- ゲートウェイ1台に接続可能な機器の台数は12台

※機器には、通信ユニットの他に、中継器や品温センサーも含まれます。



【接続例】 合計台数12台（通信ユニット11台+中継器1台）